

西小は 大きな 家族

Family

～校長のたわいもない独り言・その2～

令和元年 11 月 21 日 (木) No.40

発行人

やべっ、風邪ひいて体を動かさなかつたら体重増えた(T_T)の川崎先生

☆☆と、ある一日☆☆

・「校長先生は貯金いくらある？」と3年生男子。えっ？あっ！そのお～、校長先生が管理していないからわからないんだ～。と、お茶を濁す（本当ですけど）。お父さんはね、〇〇万あるんだよ！！(◎◎)(◎◎)(◎◎)(◎◎)(◎◎)(◎◎)(◎◎)(◎◎)(◎◎)お父さんは、ボクシングの日本チャンピオンだったんだよ！！(◎◎)(◎◎)(◎◎)今度、車をア〇ファー〇に買い替えるんだよ！！(◎◎)(◎◎)(◎◎)(◎◎)(◎◎)いいのかい？こんなおいしいファミリーのネタたくさんくれて！！

・「校長先生！！ミミスがいる！！」。1年生に呼ばれる。みんなで輪になってミミスを見ている。そっかあ、今の子どもはミミスも珍しいのか。川崎が子どもの頃は、ミミズを採って魚釣りのエサにしたから、ミミスなんて日常茶飯事的に目にしていたけど、今はミミズを採るなんてしないもんね。アスファルトの上で干からびそうなミミズを、土の上に戻してあげましたとさ(^ム^)

・「校長先生、この間の虫(”なおくん”と言う名)は、においのしないカメムシだったんですよ」と6年生女子たち。へえ～、調べてくれたんだ。「それで”なおくん”はどうなったの？」「本物の”なおくん”が紙で箱を作って中に入れて置いたら、次の日に天国に旅立ちました」。短い出会いだっただね”なおくん”(T_T)。

・「校長先生、虫捕まえた！」と3年生女子。閉じた手をそっと開けると、そこにはクローバーと細い植物のさやが。何か飛び出てくるのかなあ～、と思っていたけど、このクローバーとさやをずっと手に入れて持ってきて見せてくれることを思うと、その子どもらしい純真さになんともホッとする瞬間でした(*^。^*)

・気分的には初冬だと感じる今日この頃。でもまだ半袖短パンの子どもたちがいる。8月から服装が変わっていない。「寒くないの？」と聞くと「全然！！」と答える。これはこれでスゴイこと。健康の証。6年生男子なんてノースリーブだしね。川崎は手の指先が冷たかったので、彼の二の腕に指を当てて暖を取りましたとさ。これからの季節、仲良くしようね(^)v。

・「校長先生、これ拾った！」と、白いちっちゃなかわいい”石”を差し出す2年生男子。子どもの頃って、こういう珍しい石を拾っては箱に入れて大切にしたい思い出がよみがえる。ただただ、とっておきたくなるんだよね。

・5年生女子が黙って差し出すオレンジ色のモミジの葉。うーん、きれいだ。はて？モミジ？カエデ？違いはなに？・・・どうやら正式にはどちらもカエデらしい。切り込みの大きいカエデを〇〇モミジ、切り込みの浅いカエデを〇〇カエデと言うらしい。ほう、勉強になるなあ。ちなみにカエデとは「カエルの手」のこと。形が似ているから(@_@)

・今年の図書室キャラクターは「さくらしおりちゃん」に決定。6年生の”そうくん”作。季節によって、しおり本体の図柄が変わるそう。春は桜、夏はひまわり、秋はモミジ、冬は・・・えーっと、川崎個人的にはシクラメンかな。真綿色した～♪、シクラメンほど、すがしいものはない～♪ってね。はい、懐メロです。